

MR-8HD 取扱説明書 (V1.20 対応 追補版)

バージョンアップにより [USB HOST] ポートが使用可能となり、外部CD-R/RWドライブを接続してCD-DAフォーマット(*)のオーディオCDが作成できるようになりました。

外部CD-R/RWドライブを使ってオーディオCDを作成するには、本書記載の操作方法をお読みください。

*CD-DA

Compact Disc Digital Audio の略で、一般的にオーディオ用として流通している CD の正式名称です。CD の音声記録用アプリケーション規格で、フォーマットは規格書 “Red Book” で規定されています。オーディオ信号はPCM符号化されたステレオ・デジタル信号で、サンプリング周波数は 44.1kHz、量子化ビット数は 16 ビットで記録されます。

ご使用前にお読みください！

外部 CD-R/RW ドライブを接続して CD-DA フォーマットのオーディオ CD を作成するには、作業を開始する前に、必ず下記事項をお読みください。

MR-8HD に接続可能な CD-R/RW ドライブについて（重要です！）

[USB] ポートを装備し、ドライブの電源が単独で供給できるドライブであれば、バージョンアップした MR-8HD の [USB HOST] ポートに接続してご使用いただけます。MR-8HD は“ USB BUS POWER 機能 ”（ MR-8HD から USB ケーブルで電源をドライブ側へ供給する機能 ）を搭載していませんので、“ USB BUS POWER ” タイプの CD-R/RW ドライブは使用できません。

なお、ドライブ・メーカーの事情で使用可能な機種が変更になることがあります。お手数でも、最新の使用可能なドライブ情報を、弊社ホーム・ページ（ <http://www.fostex.co.jp> ）でご確認の上、お買い求めください。

使用可能なディスクについて

MR-8HD に接続する CD-R/RW ドライブでは、下記マークの付いたディスクのみが使用可能です。



< CD-R ディスク > : 新品で、かつ記録可能な領域が十分なディスクであれば、ファイナライズ処理するまで追記録が可能です。



< CD-RW ディスク > : 新品で、かつ記録可能な領域が十分なディスクであれば、ファイナライズ処理するまで追記録が可能です。

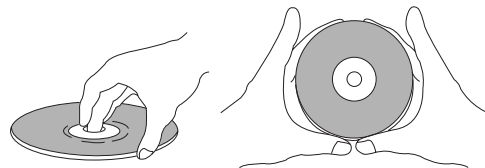


< CD ディスク > : 市販のオーディオ CD など、このマークが付いたディスクは、TOC のみ確認することができます。記録することはできません。

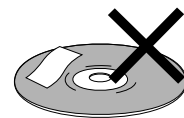
< 注意 > : MR-8HD に接続した CD-R/RW ドライブでは、ステレオ WAV ファイルを CD-DA フォーマットに変換して記録することのみが可能で、作成したオーディオ CD（または市販のオーディオ CD）を再生することはできません。

ディスクの取り扱いについて

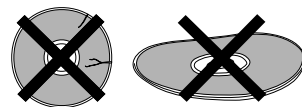
CD-R/RW ディスクを持つ場合は、信号面に指紋やホコリ、傷などが付かないよう気を付けてください。ディスクの両端をはさむように持つか、ディスク中央の穴と端を挟んで持ってください。



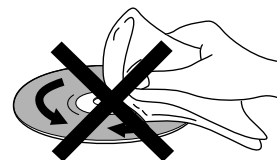
ディスクのレーベル面に、紙やシールを貼らないでください。特に、レーベル面に傷を付けないでください。傷が付くと記録 / 再生ができなくなることがあります。また、レーベル面には、市販のフェルト・ペン、またはそれと同等のペン以外は使用しないでください。先の硬いペン（ボールペン、エンピツなど）などは、絶対に使用しないでください。ディスクを破損させてしまいます。



ヒビが入ったり、反っているディスクは、絶対に使用しないでください。ドライブの故障の原因となります。



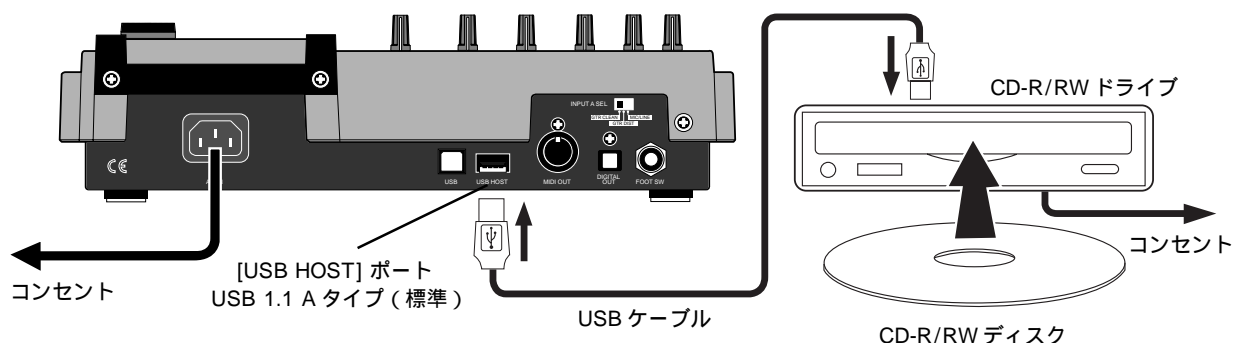
ディスクにホコリや指紋などの汚れが付いた場合には、柔らかく乾いた布、またはエチルアルコールを含ませた布で、ディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。ディスクの円周方向へは拭かないでください。



ご使用にあたっては、ディスクに付属している説明書を必ずお読みください。

外部CD-R/RWドライブの接続

CD-R/RWドライブは、専用のUSBケーブル（本機には付属していません）を使って、下記図の要領でMR-8HDリアパネル部にある [USB HOST] ポートへ接続します。

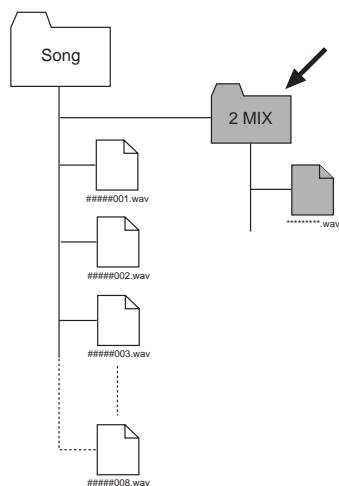


CD-R/RW ディスクへ記録可能なソング・データについて

CD-DAフォーマットで記録できるのは、下記いずれかの方法でトラック7/8にバウンズしたデータ（完パケした曲）を、ステレオWAVファイルに変換したデータです。

- (1) トラック1～6をトラック7/8にバウンズしたモノ・ファイルを、ステレオWAVファイルに変換したデータ
- (2) トラック1～8をNewソングのトラック7/8へバウンズしたモノ・ファイルを、ステレオWAVファイルに変換したデータ

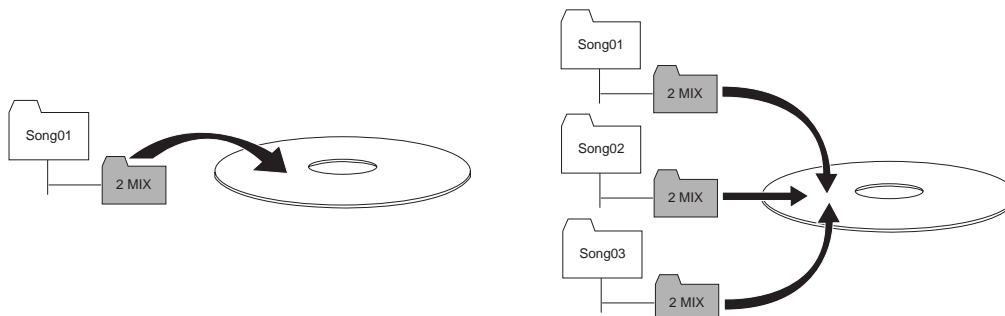
バウンズについての詳細は、取扱説明書・本文の63～74ページを参照し、トラック7/8のデータをステレオWAVファイルに変換する詳細は、同じく90/91ページを参照してください。



MR-8HDでは、トラック7/8にバウンズした曲をステレオWAVファイルに変換すると、そのWAVファイルは変換元のソング・フォルダー内にある“2MIXフォルダー”に収納されます（左記図を参照。詳細は取扱説明書・本文の93ページにも記載されています）。

外部CD-R/RWドライブを使ってCD-DAフォーマットのオーディオCDを作成するには、この“2MIXフォルダー”に収納されているステレオWAVファイルのみがCD-R/RWディスクへ記録できるようになっています。

そのため、希望のステレオWAVファイルを選択するには、あらかじめ収納されているソングを立ち上げておく必要があります。オーディオCDを作成する前には、必ず次ページ記載の<注意>をお読みください。



オーディオ CD の作成手順

<注意> : オーディオCDを作成するには、バウンスしたトラック7/8のデータをステレオWAVファイルに変換したときのソングを立ち上げておくことが必要です(下記例を参照)

<例> : 5つのソング(01~05)がHDDに記録されている状態で、記録したいステレオWAVファイルがソング03の“2MIXフォルダー”に収納されている場合。

操作を開始する前に必ずソング03を立ち上げておく。

特に、複数の異なったソングから一枚のディスクへ連続して記録する場合は、記録する前に希望のソングを立ち上げてから作業することが大切です。

希望のソングを立ち上げるには、MENUモードの“Song”メニューにある“Select Song”で選択します。“Select Song”の詳細は、取扱説明書・本文の98ページを参照してください。

ここからの操作手順は、あらかじめ下記準備が整っていることを前提にして記載されています。

MR-8HDとCD-R/RWドライブがUSBケーブルで正しく接続され、双方の電源がオンになっている。

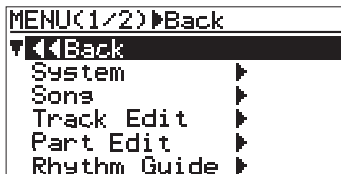
CD-R/RWディスクへ記録する、ステレオWAVファイルが収納されているソングが立ち上がっている。

1) CD-R/RWドライブに、未記録のディスクをセットします。

トレイの開閉は、ドライブ側で操作します。

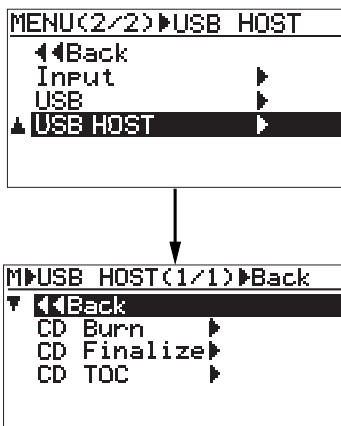
2) 停止状態で [ENTER] キーを押して、MENUモードへ入ります。

MENU選択の1ページ目の画面にvari、初期設定では“<<Back”が反転します。



3) [MENU] ダイヤルで MENU 選択の 2 ページ目にある “USB HOST>” を選択して、[ENTER] キーを押します。

USB HOST メニューの選択画面にvari、初期設定では“<<Back”が反転します。



USB HOSTメニューには3つのメニューがあり、用途に合わせて選択します(下記表を参照してください)

CD Burn	2MIXフォルダーにあるステレオWAVファイルを、CD-DAフォーマットでCD-R/RWディスクへ記録するときに選択します。記録終了後、CD Finalizeを実行してオーディオCDが完成します。複数の曲を記録するときは、CD Burnを繰り返し、最終曲を記録した後、CD Finalizeを実行します。
CD Finalize	CD-DAフォーマットでWAVファイルを記録したディスクを、オーディオCDとして成立させるときに選択します(注意:ファイナライズすると、追記録はできません)。
CD TOC	オーディオCD(市販のオーディオCDも含む)のTOC(曲数/記録時間)を確認するときに選択します。TOCは、“CD Burn”または“CD Finalize”を実行した後でも確認できます。

オーディオCDを作成する場合の操作例

1曲のオーディオCDを作成する場合:

“CD Burn”を1回実行する

“CD Finalize”を実行する

複数曲のオーディオCDを作成する場合:

“CD Burn”を複数回繰り返し実行する

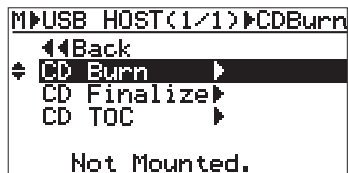
最終曲の“CD Burn”が終了後、
“CD Finalize”を実行する。

<注意>：ご使用になるドライブによっては、USB HOSTメニューの選択画面に入ると同時に、下記ポップアップ表示が点灯することがあります。

この表示は、MR-8HDとドライブ間で内部処理を実行していることを示し、約10秒程度で消えます。そのため、ポップアップ表示が消えるのを待ってから、USB HOSTメニューを選択してください。



<注意>：[MENU] ダイアルでメニューを選択したとき、画面下に“**Not Mounted**”が点灯するときは、MR-8HDとCD-R/RWドライブが正しく接続されていないことを示しています。

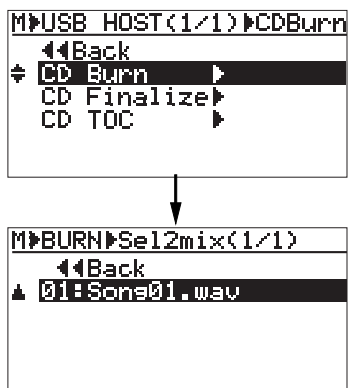


この状態で[ENTER]キーを押すと、画面中に“**Warning: Not Mounted!**”のポップアップ表示が現れて、警告します。

このような場合には、MR-8HDのHDDおよびCD-R/RWドライブのアクセスが停止している状態で、USBケーブルを抜き差ししてください。その後“**Not Mounted**”が点灯していないことを確認して、[ENTER]キーを押してください。

4) [MENU] ダイアルで“CD Burn>”を選択して、[ENTER]キーを押します。

[ENTER]キーを押すと、現在立ち上がっているソングの“2MIXフォルダー”内にある「ステレオWAVファイル」を選択する画面に変わります。下記例は、1つのステレオWAVファイルが存在することを示しています。

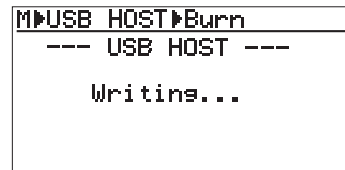


<注意>：現在立ち上がっているソングの“2MIXフォルダー”内に複数のステレオWAVファイルが存在する場合は、下記例のように各ファイルが表示されます。



5) [MENU] ダイアルでWAVファイルを選択して、[ENTER]キーを押します。

CD-R/RWディスクへの書き込みが始まり、下記画面に変わります。



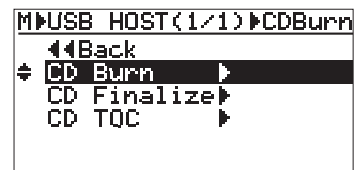
ディスクへの書き込み中は“**Writing...**”が点灯し、HDDのアクセスを示す“**ACC**”が点滅します。また、CD-R/RWドライブのACCESS LEDも点滅しますので、このような状態にあるときは、絶対に電源を切ったり、ドライブのイジェクト・キーなどを操作しないでください。なお、データの書き込み中は、MR-8HDの操作キーは一切受け付けません。

ディスクへの書き込みが全て終了すると下記画面に変わり、アクセスも停止します。



6) [ENTER]キーを押します。

USB HOSTメニューを選択する画面に戻り、“**CD Burn>**”が反転します。



複数のステレオWAVファイルを引き続き記録する場合には、上記画面の状態から操作-4～6を繰り返した後、操作-7のファイナライズを実行します。

また、“**CD Burn**”を実行した後TOC情報を確認することができます。次ページの「**TOCの確認**」を参照してください。

7) [MENU] ダイアルで“CD Finalize >”を選択して、[ENTER]キーを押します。

ファイナライズを実行するかどうかを選択する画面に変わり、“**<<Back**”が反転します。

```

M▶USB HOST(1/1)▶Finlz
◀◀Back
CD Burn ▶
◀ CD Finalize▶
CD TOC ▶
  
```

```

M▶USB HOST▶Finalize▶
--- USB HOST ---
◀◀ Back
Finalize ?
[ENTER] [CANCEL]
  
```

ファイナライズを実行するには“ [ENTER] ”を選択し、中止するには“ [CANCEL] ”を選択してから [ENTER] キーを押します。

8) [MENU] ダイアルで “ [ENTER] ” を選択して、[ENTER] キーを押します。

ファイナライズの実行を示す画面に変わります。

その後、ファイナライズが終了すると同時に “ Completed! ” が点灯し、CD-R/RW ドライブから自動的にディスクがイジェクトされます。

```

M▶USB HOST▶Finalize
--- USB HOST ---
◀◀ Back
Finalize ?
[ENTER] [CANCEL]
  
```

```

M▶USB HOST▶Finalize
--- USB HOST ---
Finalizing...
  
```

```

M▶USB HOST▶Finalize
--- USB HOST ---
Completed!
Press ENTER Key!
  
```

<注意>：ファイナライズしたディスクには追記録できません。イジェクトされたディスクをドライブに再ロードし、前述と同様他の WAV ファイルを追記録しようとしても、下記警告メッセージが表示され、実行できません。

```

M▶USB HOST▶Burn
--- USB HOST ---
Not Writable Disc!
Press ENTER Key!
  
```

9) 画面の指示に従って、[ENTER] キーを押します。

USB HOST メニューの選択画面に変わり、“ CD Finalize> ” が反転します。

```

M▶USB HOST(1/1)▶Finlz
◀◀Back
CD Burn ▶
◀ CD Finalize▶
CD TOC ▶
  
```

ファイナライズ終了後 TOC を確認するには、この後「TOCの確認」を参照してください。

10) [STOP] キーを押して MENU モードから抜け出します。

画面上にある “ <<Back ” を選択して [ENTER] キーを押す操作を繰り返すことでも、MENU モードから抜け出すことができます。

TOC の確認

TOCは、“ CD Burn ”の終了後、あるいは“ CD Finalize ”の終了後でも確認することができます。特に、複数記録するときは、ディスクのリメイン（記録可能な時間）を確認しながら作業することをお勧めします。

< TOC >：Table of contentsの略で、音楽CDのトラック（曲）数や、演奏時間などを管理するデータ領域を意味しています。

“ CD Burn ” 終了後 TOC を確認する

1) [MENU] ダイアルで “ CD TOC> ” を選択して、[ENTER] キーを押します。

“ Please Wait... ” を表示した後、記録したトラック（曲）と記録時間、さらにはリメインが表示されます。

```

M▶USB HOST(1/1)▶TOC
◀◀Back
CD Burn ▶
CD Finalize▶
▲ CD TOC ▶
  
```

```

M▶TOC▶TrackList
Please Wait...
  
```

```

M▶TOC▶TrackList(1/1)
◀◀Back REM:0h50m28s
Tr01:0h03m04s
  
```

- 2) TOCの確認ができれば、[MENU] ダイアルで “<<Back” を選択して [ENTER] キーを押します。

USB HOSTメニューの選択画面に戻りますので、“CD Finalize” を選択してファイナライズを実行します。

```
M▶TOC▶TrackList(1/1)
◀◀Back REM:0h0m28s
Tr01:0h03m04s
```

```
M▶USB HOST(1/1)▶CDBurn
◀◀Back
▶CD Burn
◀◀Finalize▶
◀◀TOC▶
```

```
M▶USB HOST(1/1)▶TOC
◀◀Back
CD Burn ▶
CD Finalize▶
▶CD TOC▶
```

```
M▶TOC▶TrackList
Please Wait...
```

```
M▶TOC▶TrackList(1/1)
◀◀Back REM:0h00m00s
▶Tr01:0h03m04s
```

<注意>：複数のWAVファイルを連続して“CD Burn”したディスクでは、下記例のようにTOC情報が表示され、リメインも確認できます。

```
M▶TOC▶TrackList(1/1)
◀◀Back REM:0h30m28s
▶Tr01:0h03m04s
Tr02:0h03m16s
Tr03:0h02m36s
Tr04:0h05m38s
```

<注意>：複数のWAVファイルを記録してファイナライズしたときも、下記のようにリメインは“0h 00m 00s”を表示します。

```
M▶TOC▶TrackList(1/1)
◀◀Back REM:0h00m00s
▶Tr01:0h03m04s
Tr02:0h03m16s
Tr03:0h02m36s
Tr04:0h05m38s
```

- 3) TOCの確認ができれば [STOP] キーを押して、MENUモードから抜け出します。Home画面に変わります。

“CD Finalize” 終了後 TOC を確認する

- 1) イジェクトされている CD-R/RW ドライブのトレイをクローズします。

ドライブ側のトレイ前方を軽く押すか、イジェクト・スイッチを押します。

<注意>：トレイをクローズすると、ドライブがディスクを読み込むためアクセスLEDが点滅します。そのため、ドライブのアクセスが完全に停止し、アクセスLEDが消灯していることを確認してからつぎの操作を行ってください。

- 2) [MENU] ダイアルで “CD TOC>” を選択して、[ENTER] キーを押します。

“Please Wait” が点灯した後、前述の “CD Burn” 終了後の TOC 確認と同様、TOC が表示されます。

ファイナライズ終了後の TOC 表示では、リメインが “0h 00m 00s” と表示されます。これは、ファイナライズしたディスクにはこれ以上追記録できないことを示しています。

<注意>：本機で作成したオーディオ CD 以外に、市販のオーディオ CD も TOC が確認できます。CD-R/RW ドライブにオーディオ CD をロードし、MENUモードの “USB HOST” メニューを使って前述同様の操作を行ってください。なお、本機で確認できる TOC はトラック数と記録時間のみで、トラック (曲) のタイトルなどは表示しません。

Fostex

フォステクス カンパニー

国内営業・企画販促グループ

196-0021 東京都昭島市武蔵野 3-2-35

042-546-6355 FAX. 042-546-6067